CLEAN FUSSA
もっとクリーン
ごみ減量わが町ふっさの合言葉

清掃だより 76

平成15年3月15日
福生市
生活環境部
環境課清掃係

ご意見・問合せ
551-1511
(内線332～3)

R100
古紙配合率100%再生紙使用
PRINTED WITH SOY INK

事業所のごみ減量と資源化にご協力を!!

事業系ごみとは？

一般の家庭から出されるごみと区別して、事業活動に伴って生じた廃棄物(ごみ)のことを事業系ごみといいます。
事業系ごみはさらに、一般廃棄物と産業の2つに分かれます。

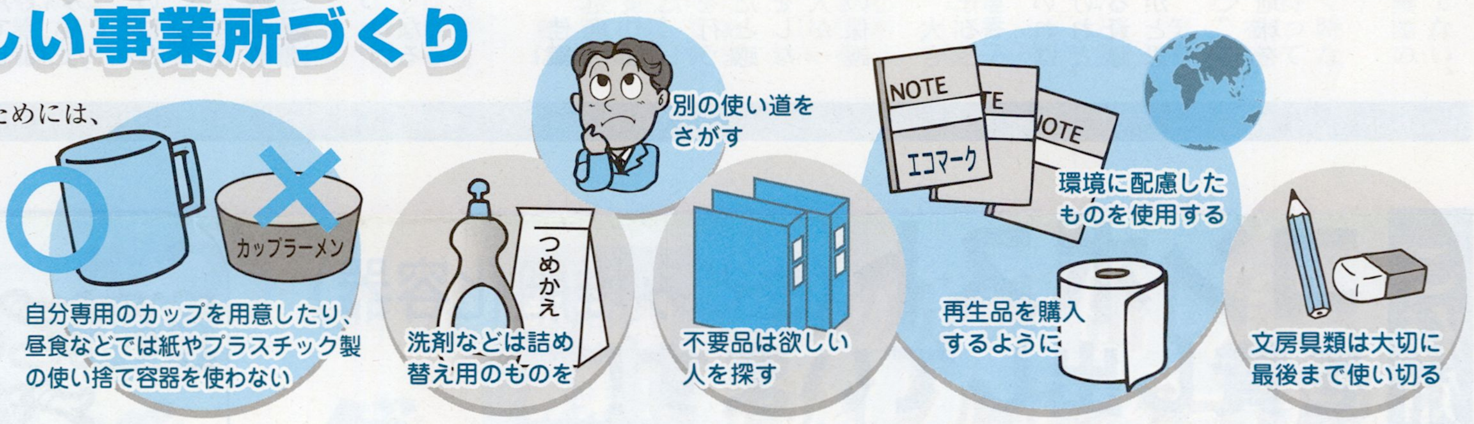
事業系ごみの問題点

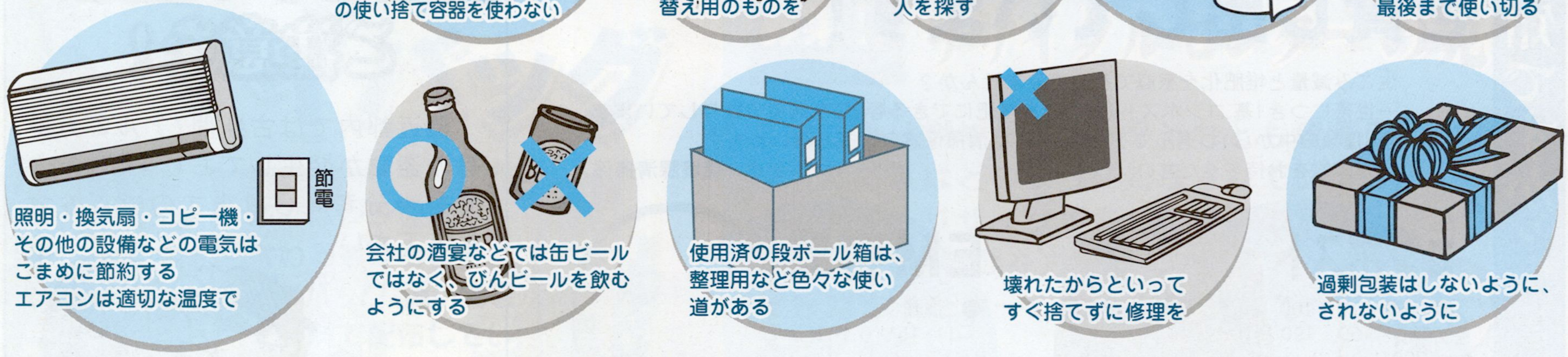
原則的に事業系ごみは、事業者が責任を持って適正処理をしなければならないと、以下のように法律によって定められています。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律
第3条第1項
事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。

ひとりでもすぐにできる地球にやさしい事業所づくり

効果的にごみ排出量を減らすためには、事業所全体の協力が必要です。しかし、一人ひとりがごみを減らそうとする意識を持ち、行動に移すことからすべては始まります。まずはできることからはじめましょう。





■コストの節減・効率化

設備や事務用品などの浪費・無駄使いを減らして、職場での体系的な節約を行うとで、ごみの減量化と経費の節減・効率化を行なえます。

■企業のイメージアップ

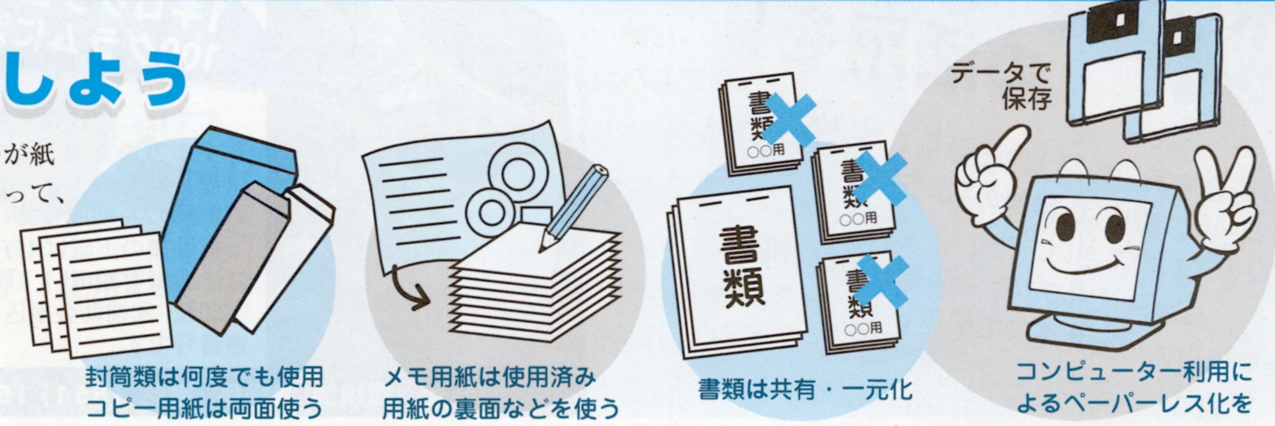
地球環境問題に大きな関心が集まっている今、環境を軽視した事業活動を行っている企業は、どんどん取り残されていくでしょう。
会社全体でごみ減量やリサイクルを推進することは企業のイメージアップにつながります。
また、地域住民とリサイクル活動における交流や協力などを行うことにより、さらなるイメージアップになることもあります。

事業系ごみを減らして、リサイクルを推進すると…

ごみを減らし、リサイクルを進めていくことは、ごみ問題の解決につながるのはもちろんですが、事業所自体にも大きなメリットがあります。そのためにも、事業所の一人ひとりがみんなで協力して、リサイクル運動に取り組んでいきましょう。

紙ごみ減量に挑戦しよう

事業系ごみの中で、大きなウエイトを占めるのが紙ごみです。その一方で、ちょっとした努力によって、すぐに減量の成果が現れるのも紙ごみです。
さあ、あなたの事業所でも始めてみませんか、紙ごみ減量大作戦。



中学生がごみについて感じたこと　ゴミについての講演会から

市立第二中学1年　奥泉　佳依

あと12年でゴミすて場がうまっちゃうなんてビックリでした！これからはゴミを少しでもいいから少なくしようと思いました。ゴミだしすぎかなぁと思いました。ゴミをへらすのは大変だよ！と思っていたけど、かんたんな事でへらせるなんてビックリした。ちょっとでもいいから少なくしようと思います。
以外な物が資源ゴミだったのでビックリでした。

市立第二中学1年　藤ノ木　穣

ゴミは、1日、一人が100g減らすだけで、たくさんのゴミが減ると知った。ペットボトルやブックカバー、缶なども出すゴミの種類もわかってよかった。ゴミの中でも、紙袋は使い方で資源ゴミになると知ってよかった。紙の大部分が燃えるゴミでなくて、資源ゴミであると知ってよかった。今日学んだことを今後生かしていきたいです。

市立第二中学1年　河田　麻紀

自分が『これはゴミだ！』と思ったものでも、もしかしたら、まだ使えたものがあったかもしれません。ゴミの分別クイズみたいのをやって、私が合った答えの数は3コでした。
自分がこんなにもゴミの分別のやり方を知らないなんて、オドロキました。『これは、燃えないゴミだろう。』と思ったものが実は資源ゴミだったり…。
これからは、何でも捨てないで、資源ゴミに出せるものは、なるべく資源ゴミに出そうと思います。

市立第二中学2年　巻田　正也

話を聴いて分かったことの中で一番驚いた事は、今のようにごみを捨て続けるとあと何年かで最終処分場にごみが入らなくなるというので驚きました。これからやろうと思うことは、いらない物を買わないようにしていきたいです。
さらにできる限り長い間ものを使うようにしたいです。捨てる時も資源ゴミをしっかりと分別して出すようにしようと思いました。

市立第二中学2年　日浦　愛

話しをきいていると、とてもリサイクルが大事だなと思いました。1人が少しでもゴミの量を減らすと、全体では、すごく多く減る事、リサイクルすることによって、ゴミの量を少なくすること、色々学ばせていただきました。日常生活で使う、「かみ袋」や、「ブックカバー」などのほとんどが、資源ごみになる事を知り、いつもは、「燃えるゴミ」にしていたのでこれからは、もっと気をつけて、ゴミを少なくしていければ良いと思いました。

市立第二中学2年　中村　慶太

現代ではちゃんと分別しようとしている人がいる反面ふほうとうきや分別しない人がいる。僕はどうも分別しない人の思考がわかりません。
燃えるゴミは燃えるゴミ、燃えないゴミは燃えないゴミで分けながら資源をリサイクルすればゴミの埋め立てを軽減できるのに。
僕はこれ以上埋め立て地を増やさないようにがんばりたいです。

市立第二中学1年　岡本　はんな

いつも、ふつうに燃やせるゴミで出していた紙袋が資源ゴミだなんて知らなかった。ちゃんと資源ゴミで出そうと思った。
ちゃんと分別しなきゃ、資源になるものまで灰になったままでのこっちゃうから分別は、大事なものだと思った。
これからは、ちゃんと分別して資源になるものは、資源ゴミとして分別してからゴミを出すようにしようと思った。このことをお母さんなどにも言って分別は大事なものだということを知ってもらいたい。

市立第二中学1年　成田　友里

食べ残しはよくないことだなーって思った。一人ずつが少しでも食べ残しをしたら、生ゴミの量はすごい量になるんだなー。だから、一人一人が食べ残しを減らしていったら、いいんじゃないですか。ゴミで一番多いのはきっと生ゴミだから、食べ残しを減らせば生ゴミはきっとへるはず!!

市立第二中学3年　山口サトミ

自分は今までずーっとムダなことをしていたということを思い知らされました。
ごはんを食べ残したり、今必要でない、お店の袋などをもらったりして、資源のムダをしていたことがわかった。
なので、これから、買い物へ行く時などは家から、買い物バックなどを持っていったりして、ごみ（ムダなもの）を減らしていきたいと思います。それと、特に夜のゴハンを残さず食べるよう、気をつけます。
それから、親にも教えてあげたいと思います。

市立第二中学3年　平井理香子

私は、自然環境について、けっこー敏感な方です。
だから、リサイクルとかは常に心がけています。ゴミになりそうなものをなるべく使わず、ゴミはなるべく小さくして捨てたりしています。
最近気にしているのは、地球温暖化です。ゴミとはあまり関係ないのですが、ゴミとはあまり関係ないのですが、一度うすくなったオゾン層は元には戻らないと聞きました。だから昔に比べて安心して日光浴ができない様に、電気をなるべく使わないようにしています。夏はクーラーに気をつけています。
ゴミからずいぶんはずれましたが…、とにかくゴミとか、自然破壊につながるものを減らすようにみんなで気をつけたいです。

市立第二中学3年　秋山恵里香

私が今まで平気で出していたゴミが1年分を計算するとすごい数だとわかってびっくりしました。
できるだけゴミを減らすために、買い物の時にはビニールをもらわないように、使える物はすぐに捨てずに何か良い方法を考えて再利用し、ごはん1杯分も無駄にしないようにします。
こういうことを一人一人が心がけるとその分だけごみを減らしていけるので、まずは自分自身、そして家族、友達などと協力し自分達の自然がなくならないように気をつけます。ごみの講演会をやって良かったと思います。

市立第二中学3年　松下　潤子

今日みたいによく考えてみると、資源ゴミとなるものがほとんどだというコトに気づいた。
うちの家では、ゴミの有料化になってから、すごくゴミの量がへりました。紙はほとんど資源ゴミで出すようになり、ペットボトル、トレーなども、再利用するようになりました。これからもしっかりと分別するように心がけていこうと思いました。

市立第二中学3年　内河恵利子

ごみの有料化の事は、納得いかなかったけど、やっとわかった。日本がそれだけごみにあふれてるとは考えませんでした。一人1日100gだけ減らせば、福生だけでも6.2ｔも減らせるなら、みんなでがんばりたいです。
埋立地も、もうそろそろいっぱいになると聞いて、その気持ちがよりふくらみました。だれでも自分の家の近くに埋立地ができるのはいやだろうし、自然が破壊されるのはイヤだと思うのでゴミ絶滅にむけて、がんばろうと思います。
一人一人が自覚をもって、ちょっとずつでも減らしていけば、ゴミがなくなる日も近いと思います。

市立第二中学2年　田村　佳織

この講演会が行われる前はゴミ処理・管理について、興味を持つ事はあまりなく、人まかせにする事ばかりでした。しかしこの講演を聞いてゴミの減量を行うためには、全員の協力が必要なのだと感じました。『自分一人ぐらい分別をしなくても平気だろう』という考えの人が一人でもいれば、ゴミの減量、自然の保護をする事は出来ないと思いました。
今、私達中学生に出来ることは、大きな事ではなくても自分達の地球を守るという意識を持つことだと思います。
地球を守ろうと思っている人もいれば平気でゴミを捨てる人もまだいるけれど、一人一人の意識があれば、限りある資源を守る一歩につながるのではないかと思います。
私達が大人になって、ゴミがなく、自然や子供達の夢であふれるような地球を造れたら素敵だなと思いました。

ご存知ですか？

コンポスト（生ごみ堆肥化容器）を貸し出しています！

生ごみ減量と堆肥化を家庭で行ってみませんか？
一世帯につき1基、コンポスト（生ごみを堆肥にできる容器）を無償で貸与しています。
全8種類の中から1つ選んで下さい。申請は清掃係窓口までお願いします。
※印鑑をお持ちください。　　問合せ　環境課清掃係

コンポスト

●6種類＝70・100・130・150・190・200リットル

底のない大きなバケツタイプ。花壇や畑などの土の上に置く。

EM容器

●2種類＝11・15リットル

小さめのバケツタイプ。マンションなどで庭がなく、土がない所でも使用可能。ぼかし粉（EM菌）が必要。

資源ごみの盗難にご注意を！

最近都内では古新聞・アルミカン等の盗難が発生しております。市内でも十分考えられますのでご注意して下さい。

ボランティア袋の活用を！

自宅周辺の路上など散乱しているごみ拾いの際には、無料の「ボランティア袋」をご利用下さい。
なお、「ボランティア袋」の配布場所は市内の公共施設で配布しています。詳細は、ごみカレンダーをご覧ください。

生ごみ処理機器の購入に4万円を限度に補助します。

1キログラムの生ごみが100グラムに減量！

市では、市民または市内に事業所を有する方を対象として、家庭用生ごみ処理機器を購入された場合、購入価格の3分の2を助成しています。
補助額の上限は4万円です。助成申請に必要な書類は、①領収書　②保証書　③印鑑　④補助金振込先の金融機関の口座番号です。

問合せ：環境課 清掃係　電話（551）1511

使ってますか？マイバッグ

レジ袋はもらわず、マイバッグを！

ごみ減量に、あなたの協力が必要です！

配布条件
レジ袋等の減量を積極的に行っていただける、市内在住の希望者（1世帯1枚）

配布場所
生活環境部環境課清掃係（TEL.551－1511）

参加者募集!!　ごみの分別・出し方とリサイクルセンターの見学

このごみは燃やせるごみ？それとも資源？
出したごみはどのように処理されているの？
ごみがどうリサイクルされているの？
等々、日頃、疑問をお持ちの方、ごみの分別方法をゲーム感覚で解決してみませんか。

■日　時　①3月25日（火）集合・出発9:30
　　　　　②3月27日（木）集合・出発9:30
　　　　　両日とも午前9時30分～正午、参加はどちらか1回
■場　所　市リサイクルセンター
　　　　　（ただし、集合、解散は市役所前庭、会場へはバスで送迎します）
■対　象　市民（小学校4年生以上）
■定　員　38人（申込先着順）
■参加費　無料
■申込み　3月10日（月）から
　　　　　電話で市役所環境課清掃係

3月3日(月)～31日(月)受付ています

減免世帯に指定収集袋を交付しています！

4月以降のごみの排出に使う指定収集袋を、次の該当世帯に対して一定枚数交付しますので、必要な世帯は申請をしてください。

対象世帯

1.生活保護受給世帯
2.児童扶養手当受給世帯　※18歳未満の児童のいる母子家庭で、一定所得以下の方。
3.特別児童扶養手当受給世帯　※20歳未満の障害者を養育している世帯で、一定所得以下の方。
4.遺族基礎年金受給世帯　※国民年金のみの加入で、18歳未満の児童を養育している母子家庭で、一定所得以下の方（年金コード6450の方が該当します）
5.老齢福祉年金受給世帯（改正前の国民年金法によるもの）
※明治44年4月1日以前の生まれで、一定所得以下の方。
●市役所年金係にご確認ください。

受付日時

月曜日から金曜日
午前8時30分～5時15分
※祝日を除く

申請場所

商工会館203会議室
4月1日からは市役所環境課清掃係窓口にて受け付けます。

交付枚数

(1人世帯)可燃用小袋120枚、不燃用小袋20枚 (2人世帯)可燃用中袋120枚、不燃用中袋20枚
(3人世帯以上)1人増えるごとに2人世帯枚数に可燃用中袋60枚、不燃用中袋10枚を交付します。
※交付については、1年分まとめて交付します。年度途中の該当世帯は、月割り相当量の交付となります。

必要な物

・印鑑（印鑑がない場合には、交付できません）
・証書（生活保護法適用証明書・児童扶養手当証書・特別児童扶養手当証書・遺族基礎年金証書・老齢福祉年金証書）

関東甲信越静標語コンテスト入選

昨秋、市のポスター・標語コンテストに中学生の部で1席に入選しました川村亜里沙さんの作品が関東甲信越静標語コンテストにおいてみごと入選いたしました。

なお、ポスター・小学校高学年の部で第一小4年生の平田誠さん、標語・小学校の部で第二小3年生中本暁大さんの作品が東京都推薦作品になりましたが、おしくも本選では入賞しませんでした。

中学生の部　入選

川村　亜里沙（第二中3年生）

分別で　地球も心も　美しく

平田　誠（第一小4年生）

小学生の部　東京都推薦作品

中本　暁大（第二小3年生）

紙パック　切って開いて　再生紙

スプレー缶は使い切ってください！

燃やせないごみの日に収集したものの中に、ガスの残ったままのスプレー缶が入っていると、収集車両の中で発火、炎上するおそれがあります。

この様な事が起きますと、人身に危険をおよぼすだけでなく、収集にも支障をきたします。必ずスプレー缶の中身は全て使い切ってお出しください。

収集車の中で発火したスプレー缶